

# 教育研究上の特色

## 研究指導体制

本研究科は、研究の中心となる学校教育実践学及び教科教育実践学の特質を考慮して総合的・学際的な視点から研究指導ができるように、1人の学生に対して3人の教員が指導教員となる。(主指導教員1人、副指導教員2人とし副指導教員のうち1人は主指導教員の所属大学と異なる大学の教員とする。)

したがって、学生は主指導教員の所属する大学において研究指導を受けることになるが、同時に連合大学院の利点を生かして他大学に所属する副指導教員の指導を受けることができる。

## 教育課程

これまでの教育科学、教科教育学及び教科専門科学の各専門分野の枠にとらわれない各専門領域を有機的に統合化した授業科目を次の区分により開設する。

① 総合共通科目	<p>教育実践学の構築に関わる教育研究の遂行にあたって、教育課題を的確に把握し、課題解決の方略を提示することのできる総合的な資質・能力の育成を主要な目的として、本研究科を構成する6大学の教員が共同で開設し、夏期と春期にそれぞれ集中講義により実施する。この総合共通科目は、必修科目として計4単位を履修する。</p> <table><tbody><tr><td>教育実践基礎研究Ⅰ</td><td>2単位</td><td>教育研究法基礎Ⅰ(研究の進め方) 教育研究法基礎Ⅱ(量的研究法) 教育研究法基礎Ⅲ(質的研究法)</td></tr><tr><td>教育実践基礎研究Ⅱ</td><td>2単位</td><td>実践研究課題演習Ⅰ(研究課題の探求) 実践研究課題演習Ⅱ(研究の推進)</td></tr></tbody></table>	教育実践基礎研究Ⅰ	2単位	教育研究法基礎Ⅰ(研究の進め方) 教育研究法基礎Ⅱ(量的研究法) 教育研究法基礎Ⅲ(質的研究法)	教育実践基礎研究Ⅱ	2単位	実践研究課題演習Ⅰ(研究課題の探求) 実践研究課題演習Ⅱ(研究の推進)
教育実践基礎研究Ⅰ	2単位	教育研究法基礎Ⅰ(研究の進め方) 教育研究法基礎Ⅱ(量的研究法) 教育研究法基礎Ⅲ(質的研究法)					
教育実践基礎研究Ⅱ	2単位	実践研究課題演習Ⅰ(研究課題の探求) 実践研究課題演習Ⅱ(研究の推進)					
② 専門科目	<p>個別の研究課題について、多様な専門的視点から総合的に検討し、その課題解決能力を修得させることを目的として開設する。この専門科目は、学生の研究題目に基づき指導教員が作成する教育研究指導計画書に従って計8単位以上を選択履修する。</p>						
③ 課題研究	<p>博士論文への発展を期待する上で必要不可欠な演習として、学生の研究課題に即して開設する。この課題研究は、主指導教員と副指導教員により第1年次から第3年次前期までの5学期間を通して開講し、必修科目として計10単位を履修する。</p>						

## フレックスタイム・カリキュラム制度

本研究科では、職業を有する学生又は、在学中に就職した学生に対する教育方法の特例として、主指導教員の指導のもと、夜間その他特定の時間又は時期において授業科目の履修と研究指導を受けることができる「フレックスタイム・カリキュラム制度」を設けている。

この制度は、学生の申請に基づき、総合共通科目を除いた授業科目(専門科目、課題研究)及び学位論文の作成等に対する指導について適用し、指導教員や講義担当教員との調整により土・日・祝日の時間帯や夏期、冬期、春期の休業期間中に集中講義等により履修することができる制度である。

なお、この制度の適用に当たっては、出願の際に制度適用について希望する主指導教員に了承を得ておく必要がある。

[フレックスタイム・カリキュラム制度による履修モデル]

年次	授業科目	単位	履修方法の例	備 考
第1年次	課題研究	2	主指導演習 各週土曜 副指導演習Ⅰ(指定日曜)	
	〇〇教育基礎特別研究	2	A 教員各週土曜講義 5～7月	
	〇〇教育課程特別研究	2	B 教員集中講義 8月中4日間	
	総合共通科目	2	集中講義	
後期	課題研究	2	主指導演習 各週土曜 副指導演習Ⅱ(指定土曜)	〇〇学会誌投稿
	〇〇教材特別研究	2	C 教員集中講義 2月中4日間	〇〇学会誌論文掲載
	総合共通科目	2	集中講義	
第2年次	課題研究	2	主指導演習 各週土曜 副指導合同演習	
	他専攻の授業科目	2	D 教員集中講義 8月中4日間	博士候補認定試験受験 博士候補認定試験合格
	課題研究	2	主指導演習 指定日 副指導演習Ⅰ //	学位論文作成着手
			副指導演習Ⅱ //	△△学会誌投稿
第3年次	課題研究	2	主指導演習 指定日 副指導演習Ⅰ //	△△学会誌論文掲載
			副指導演習Ⅱ //	
	学位論文公聴会発表・最終試験準備			学位論文完成・提出 公聴会・論文審査 最終試験 修了認定・学位授与
	合 計	22	(注)この履修モデルは、3年間の全期間についてフレックスタイム・カリキュラム制度を適用し、その間に修了要件単位数22単位を修得し、かつ、学位論文提出要件(学会誌論文掲載2編)を充足した場合のものである。	

主指導教員  
及び副指導  
教員による  
学位論文作  
成の指導